



第82期 中間期

株主・投資家の皆さまへ

2019年4月1日 — 2019年9月30日

特集1

身近なところで生きる

アマダの技術 Vol.5 海・山編

特集2

アマダを知るVol.9

「世界初の革新的ファイバーレーザ技術」のご紹介

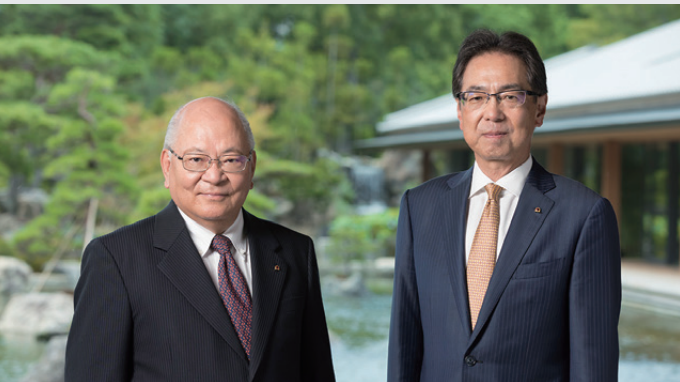
株主さまQ&A

社長に聞く

ROE10%達成に向けて

株式会社アマダホールディングス

証券コード：6113



代表取締役会長兼CEO

岡本 満夫

代表取締役社長

磯部 任

ごあいさつ

株主の皆さまをはじめとする多くのステークホルダーの皆さまに支えられ、昨年度は売上、利益共に過去最高の業績を達成することができました。

製造業の変革期を迎えている今、中期経営計画の達成とその先を見据え、世界の変化、日本の変化、技術の変化、労働環境の変化に対処できる体質に変えていかなければいけません。これまで以上に成長し勝ち残っていくために、グローバルで攻めの変革を行うことでお客さまに選ばれる企業であり続けるよう努めてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国内外で販売が拡大し、 上期として売上収益は過去最高となりました。

当中間期の業績について

当中間期の経営成績は、国内では、「ENSISシリーズ」をはじめとするファイバーレーザ商品の販売拡大等により概ね堅調に推移し、海外でも北米地域での増収が下支えとなり、増収となりました。また、上期としての売上収益は過去最高を更新しました。

事業別の売上収益は、金属加工機械事業は前年同期比3.7%減の1,226億円となり、金属工作機械事業は前年同期比18.5%増の317億円となりました。

地域別売上収益の内訳は、日本は前年同期比9.6%増の

727億円となりました。また、海外では、北米が前年同期比6.4%増の318億円と増収となったものの、欧州が265億円(前年同期比9.5%減)、アジア他が238億円(同17.8%減)の減収となり、海外全体では前年同期比6.8%減の822億円となりました。

損益面につきましては、新商品拡販による販価改善効果や前期に買収したアマダマーベル社及びアマダオリイ社の増収効果はあったものの、為替の影響等により、営業利益は191億円(前年同期比5.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は133億円(同17.9%減)といずれも減益となりました。

2020年3月期連結決算ハイライト	前中間期	当中間期	前年同期比	通期(予想)	前期比(予想)
売上収益	1,545億円	1,549億円	0.2%増↑	3,350億円	0.9%減↓
営業利益	203億円	191億円	5.8%減↓	470億円	4.1%増↑
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益	162億円	133億円	17.9%減↓	335億円	0.6%増↑

通期業績の見通しについて

当中間期の業績において、主力の板金部門においてファイバーレーザの新商品の販売が好調に推移しているものの、米中貿易摩擦の影響により、中国やその他アジアの周辺国の景気は減退しており、欧州でもブレグジットや輸出鈍化により設備投資に陰りがみられることなどを加味し、通期業績予想は売上収益を修正いたしました。一方、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は当初の予想のとおりといたしました。

修正後の予想は売上収益3,350億円(前期比0.9%減)、営業利益470億円(同4.1%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益335億円(同0.6%増)を見込んでおります。

中期経営計画達成に向けて

現在、2021年度までの中期経営計画「Task3・2・1」達成に向け、全社一丸となって取り組んでおり、売上高2015年度比30%増の4,000億円、経常利益率20%の800億円、ROE10%を目指しています。

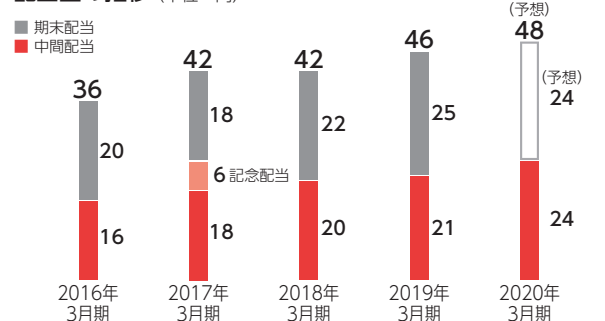
商品戦略では、昨年発売したファイバーレーザマシン「ENSISシリーズ」の高出力機の販売が、日本や北米などで好調です。また、IoTを活用した「見える・見守る」機能を標準搭載したマシンを今春から販売開始しており、遠隔によるサービス提供に向けた取り組みを加速させています。

重点地域に掲げる北米では、東部に位置するノースカロライナの工場及びテクニカルセンターの稼働を目前に控えるなど、北米での販売・供給体制が強化されつつあります。

株主還元について

当中間期の剰余金の配当に関しましては、配当性向50%程度を基本に安定的な配当を実施するとの方針に基づき、当初の予定どおり1株あたり24円とさせていただきました。また、中期経営計画「Task3・2・1」に掲げる2021年度までにROE10%の達成を見据え、100億円または900万株を上限とする自己株式の取得及び消却を決定しました。期末配当予想につきましては、当初の予想額と変わらず、24円とさせていただきます。この結果、年間では1株あたり48円となる見通しです。

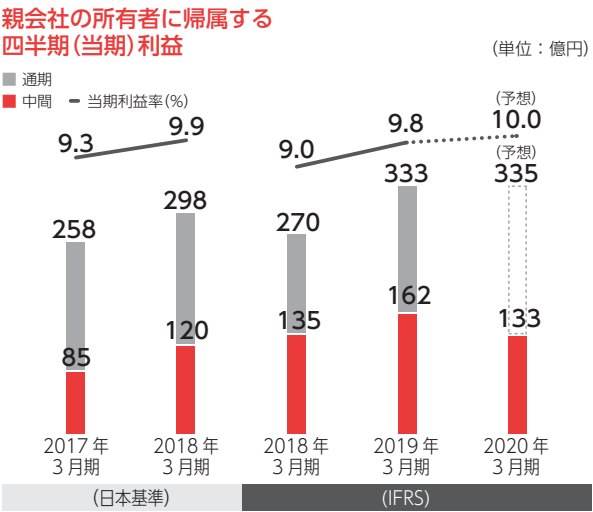
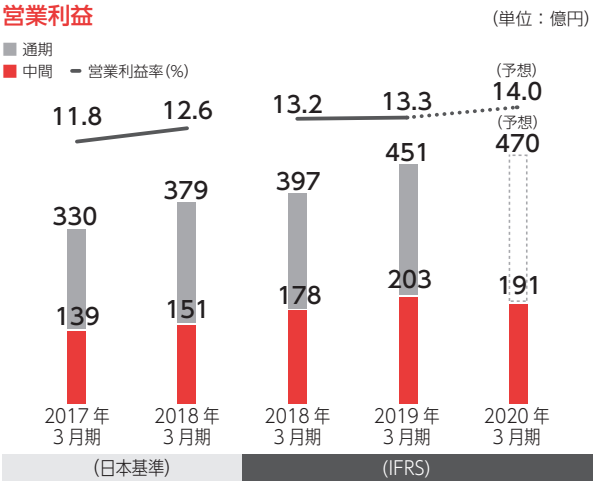
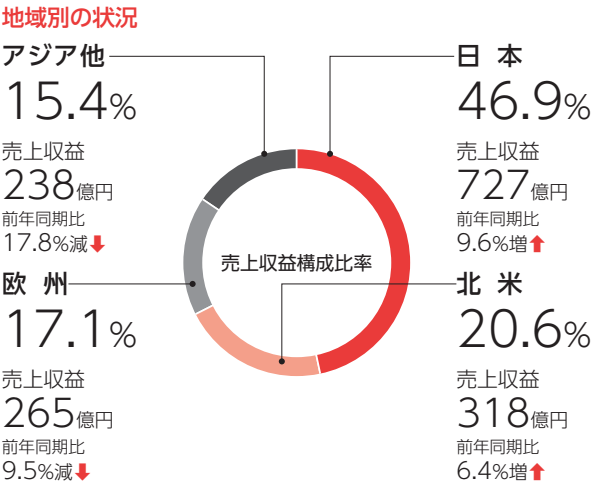
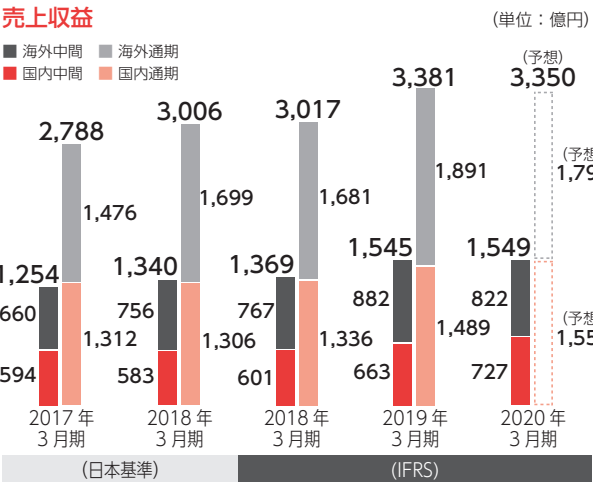
配当金の推移 (単位：円)



※2017年3月期の中間配当には創業70周年記念配当6円が含まれています。

連結業績の推移

当中間期のポイント 国内はファイバーレーザの拡販により増収、海外では北米が堅調に推移しました。新規連結による増収や新商品による販価改善効果があったものの、円高の影響等により減益となりました。



(注)2020年3月期第1四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、2019年3月期の数値において遡及修正しております。

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当中間期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
資産		
流動資産	316,450	327,164
非流動資産	255,002	240,697
有形固定資産	145,666	130,914
無形資産	14,723	14,623
その他	94,612	95,159
資産合計	571,453	567,861
負債		
流動負債	106,452	105,997
非流動負債	23,709	16,584
負債合計	130,162	122,581
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	153,119	153,119
利益剰余金	248,025	243,596
自己株式	△11,609	△11,608
その他の資本の構成要素	△6,745	1,555
親会社の所有者に帰属する持分合計	437,558	441,431
非支配持分	3,732	3,848
資本合計	441,291	445,280
負債及び資本合計	571,453	567,861

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日	前中間期 自 2018年4月 1 日 至 2018年9月30日
売上収益	154,940	154,584
売上原価	△87,505	△86,327
売上総利益	67,434	68,257
販売費及び一般管理費	△48,883	△48,240
その他の収益	940	797
その他の費用	△329	△470
営業利益	19,162	20,343
金融収益	1,607	3,518
金融費用	△1,511	△730
持分法による投資利益	237	166
税引前四半期利益	19,495	23,299
法人所得税費用	△6,006	△6,894
四半期利益	13,488	16,404
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,344	16,246
非支配持分	144	157
四半期利益	13,488	16,404

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期 自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日	前中間期 自 2018年4月 1 日 至 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,933	8,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,768	△16,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,317	△4,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,942	56
現金及び現金同等物の増減額	△95	△12,040
現金及び現金同等物の期首残高	56,295	80,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,199	68,424

金属加工機械事業 79.1%

板金部門 微細溶接部門

売上収益 1,226 億円

前年同期比 3.7%減↓

当中間期のポイント

- 板金部門は、日本や北米でファイバーレーザーマシンの販売が堅調でしたが、欧州やアジアで景況感悪化の影響を受けました。
- 微細溶接部門は、自動車部品関連向けの抵抗溶接機が低調に推移しました。

金属工作機械事業 20.5%

切削部門 プレス部門 研削盤部門

売上収益 317 億円

前年同期比 18.5%増↑

当中間期のポイント

- 切削部門は、鉄構加工マシンの販売が拡大しました。プレス部門は、タンデムライン等の自動化商品の販売が進展しました。
- 研削盤部門は主力のプロファイル研削盤の販売が国内やアジアで堅調に推移しました。

2019年6月 第81期定時株主総会のご報告

6月26日、神奈川県伊勢原市の当社本社において第81期定時株主総会を開催し、昨年を上回る174名の株主さまにご出席いただきました。総会では、事業報告や対処すべき課題の説明を行った後、議案のご審議をいただき、上程した全議案が原案どおり承認・可決されました。株主さまからは、中期経営計画の進捗状況や、女性活躍推進への取り組み、BCP対策などの質問があり、議長および担当役員より回答いたしました。総会終了後は、希望者へ展示場とアマダ記念会館をご案内し、アマダグループへの理解を深めていただきました。

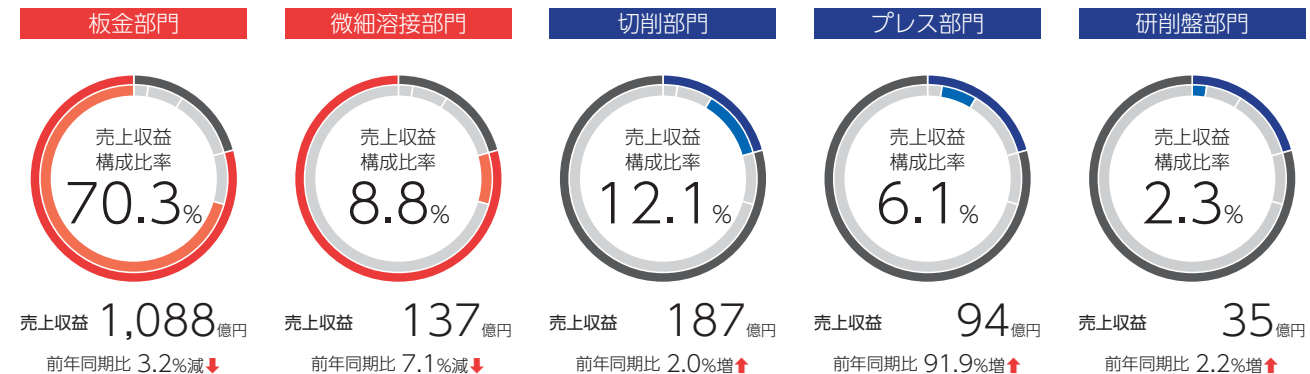


2019年7月 EML-AJシリーズが「経済産業大臣賞」を受賞

日刊工業新聞社主催の「第49回機械工業デザイン賞」において、高速パンチ・ファイバーレーザー複合マシンのEML-AJシリーズが、アマダグループとしては5度目の最優秀賞となる「経済産業大臣賞」を受賞しました。高品質・高速加工、生産性向上、ランニングコスト低減に加え、変種変量生産に対応して作業工数を大幅に削減した点、またIoTを活用したサポートにより安定した長時間連続稼働が可能になった点などが高く評価されました。

2019年8月 MF-TOKYO出展
最新の金属加工技術を訴求

東京ビッグサイトで開催された「MF-TOKYO 2019」に出展しました。「進化が加速する」をテーマに、国内展示会で初披露となったLBCテクノロジーを搭載したVENTIS-AJやパンチ・ファイバーレーザー複合マシンのEML-AJなど最新鋭のマシンをはじめ、人手不足や働き手の多様化など社会的な課題に対応した自動化関連商品などを展示し、「アマダの進化」をアピールしました。アマダブース内は常時多くのお客さまで賑わい、来場者数、契約見込数共に前回を上回る実績を残しました。



金属板に穴をあけたり、切断や折り曲げ等を行うマシンを扱っており、複数の加工を同時に行う複合機や自動化の提案も行っています。



金属同士を溶接するマシンを扱っており、レーザーを用いた微細溶接をはじめ、電気抵抗を利用した精密抵抗溶接にも対応しています。



塊状の金属を切断したり、穴あけを行うマシンを扱っており、素材に応じたさまざまな加工を高精度で高速に行うことができます。



金属板に圧力をかけて成形するマシンを扱っており、高性能な駆動システムにより高い安定性と高精度を同時に実現しています。



金属を削って加工するマシンを扱っており、最新デジタル技術と長年培った加工ノウハウを融合した提案を行っています。

身近なところで生きる アマダの技術 Vol.5



私たちアマダグループは金属加工機械の総合メーカーです。
私たちがお客さまに提供するトータルソリューションを
用いてつくられた数多くの金属部品は、
皆さまが普段何気なく目にしているものに使われています。
今回は海・山で生きるアマダの技術をご紹介します。



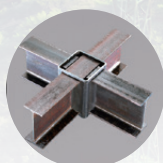
ダム(発電タービン)

壁部分のコンクリートを固める際に大量のH形鋼が使われており、発電タービンの部品はほとんどが金属でできています。バンドソーマシンでの加工や板金加工が施されています。



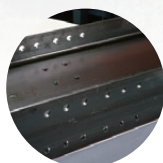
橋

橋脚や柱など、骨格部品には多くの鉄骨が使われています。これを寸法通りに切断し、ボルトのための穴をあける加工は、バンドソーマシンやドリルマシンで行っています。



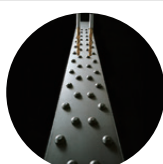
大型船舶

巨大な船体を支えるために、建築物と同様、鉄骨が使われています。形鋼の切断、穴あけにバンドソーマシンやドリルマシンが使われています。



コンテナクレーン

港湾でコンテナの積み下ろしに活躍しているコンテナクレーンは、重量物を扱うため、鉄骨で組み上げられています。モーター部品は板金もしくはプレス加工されており、駆体の鉄骨の加工はバンドソーマシンで行っています。



金属部品ができるまで



当社WEBサイトにて、
さまざまなところで活用
されるアマダの技術を紹介するコンテンツ「**身近なところで生きるアマダの技術**」を掲載しています。
ぜひご覧ください。

➔ https://www.amada.co.jp/products_made/



アマダを知る Vol.9

特許
20件以上
出願中！



VENTIS-3015AJ

世界初の革新的技術「LBCテクノロジー」

当社は、強みであるレーザー光による金属加工技術を進化させた革新的な「軌跡ビームコントロール(LBC)テクノロジー」の確立に世界で初めて成功しました。「LBCテクノロジー」とは、エネルギー密度の高いレーザー光を、加工する金属の材質や板厚に応じて、8の字やUの字等最適な軌跡となるよう制御を行う技術です。この技術を搭載した「VENTIS-3015AJ」はドイツで最も権威のある製造業界誌「MM MaschinenMarkt」が先進的・革新的な製品に対して表彰するMM賞を受賞しました。

「VENTIS-3015AJ」開発の背景

ファイバーレーザーは、従来のCO₂レーザーに比べて加工速度が優れる一方、ステンレスやアルミに対し切断面が粗い、切断時に熱により溶けた金属が素材の下部で冷えて付着する“ドロス”が発生するといった加工品質に課題がありました。この度、ステンレスやアルミに対しても高い加工品質を求めるお客さまの声を受け、「LBCテクノロジー」が誕生しました。「VENTIS-3015AJ」は、この革新的技術に加え、新開発の高輝度4kWファイバーレーザー発振器を搭載したことで、ステンレス、アルミの中厚板の切断加工において従来比2倍以上の速度を実現しながら、加工コストを約1/2まで低減することができます。

「VENTIS」の由来

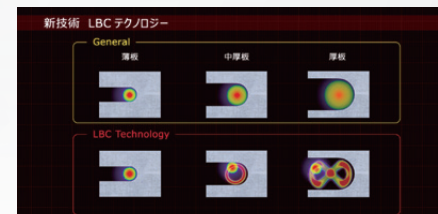
「VENTIS(ベンティス)」はラテン語で「風」を意味し、世界初の革新的技術を搭載したレーザーマシンで新しい潮流をつくるという意志が込められています。ステンレスやアルミは、サビに強いことや製品の軽量化に繋がることから、エレベーターや自動車、厨房機器等幅広い業種で需要があります。ステンレスやアルミの加工に強みを持つファイバーレーザーマシンの開発に成功したことで、金属加工業界から注目を集めています。

「世界初の革新的ファイバーレーザー技術」のご紹介

当社はまだレーザーがあまり普及していなかった1980年に、金型を使用しない革新的な板金加工技術としてレーザーに着目し、切断用途のレーザーマシンの商品化に成功しました。現在では、需要が高まるファイバーレーザーマシンのラインナップを拡充させています。本号では株主の皆さまに最新のファイバーレーザーマシンをご紹介します。



MM受賞式にて



エネルギー密度の高い高効率な光を維持したままビーム形状を加工技術毎に自由自在にコントロールできます

機部社長に聞く
株主さま



株主さまアンケートやお問い合わせにてお寄せいただくさまざまな質問に、当社代表取締役社長 磯部 任がお答えします。

Q アマダの商品が世の中でどのように役に立っているのか知りたいです。

A 中間期の株主通信で「身近なところで生きるアマダの技術」をシリーズ化し、ご紹介しています。今回は海・山編に焦点を当てていますが、その他にもパソコン、冷蔵庫などの家電や街中で目にする信号機、自動販売機、エレベーターなど多岐にわたる製品がアマダの金属加工機械を使って作られています。当社は、言わばモノづくりの中でも縁の下の力持ち的な役割を果たしています。

Q 配当利回りはいいが、ROEが低いので改善を期待しています。

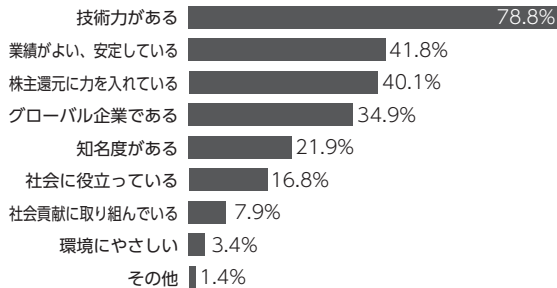
A 2021年度までの中期経営計画の目標の一つとしてROE10%を掲げています。現在、貸借対照表のスリム化に取り組んでおり、その中で捻出された資金を成長戦略である設備投資やM&Aに活用していくと同時に、自己株式の取得も機動的に実施することでROE10%の達成を目指しています。



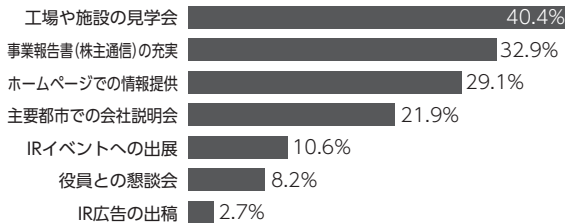
株主さまアンケートのご報告

6月発行の「株主・投資家の皆さまへ」でのアンケートにご協力いただきありがとうございます。皆さまからの貴重なご意見を生かし、IR活動のさらなる充実に努めてまいります。

Q. あなたは当社にどのような企業イメージをお持ちですか。（複数回答）



Q. あなたは当社のIR活動について、特に実施を希望するものは何ですか。（複数回答）



本年の株主総会終了後に展示場やアマダ記念会館をご案内しました

今号では最新のファイバーレーザマシンの技術をご紹介します



IR ホームページのご案内 <https://www.amadaholdings.co.jp/ir/>

トップページ



IRトップページ



個人投資家の皆さまへ



身近なところで生きるアマダの技術

当社の会社概要、企業活動、商品、IRなどに関する詳しい情報につきましては当社WEBサイト上にてご覧いただけます。ぜひご利用ください。

スマートフォンでもご覧いただけます。

QRコード



単元未満株式をお持ちですか？

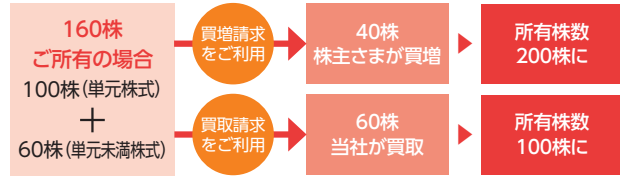
単元未満株式では行えないこと

- ◎市場での売買ができません。
- ◎議決権の行使ができません。*

* 1単元に満たない株式のみをご所有の株主さまの場合

当社では単元未満株式（1～99株）をご所有の株主さまには、単元株式に不足する数の当社株式を買い増して、単元株式にさせていただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」のいずれかをご利用いただけます。

■ 買取・買増制度の例



ご連絡先：みずほ信託銀行 証券代行部（フリーダイヤル）0120-288-324

株主さまアンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、**アクセスナンバー**入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は 5 分程度です。

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。WEB アンケートを実施いたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間（2020年1月31日まで）です。



→パソコンから

<https://q.srdb.jp/>



→スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードを読み取ることで直接アンケート画面へアクセスできます。



→メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールを無記入でご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

ご回答いただいた方の中から抽選でQUOカード(1,000 円)を進呈させていただきます。

【ネットでアンケート】は宝印刷株式会社が運営し、ご回答いただいた内容は宝印刷株式会社が管理いたします。

宝印刷株式会社については<https://www.takara-print.co.jp/> をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

※アンケートに関するお問い合わせ先 : kabu@takara-print.co.jp

※平日17 時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

【個人情報の取り扱いに関して】

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、個人情報に関する取り扱いに関しての詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>) のとおりです。

■ 会社概要

商号	株式会社アマダホールディングス (AMADA HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1948年5月1日(創業1946年9月10日)
資本金	54,768百万円
従業員数	連結 9,429名

■ 役員一覧

取締役

代表取締役会長兼CEO	岡 本 満 夫
代表取締役社長	磯 部 任
専務取締役	柴 田 耕 太 郎
取締役	工 藤 秀 一
取締役	三 輪 和 彦
社外取締役	間 塚 道 義
社外取締役	千 野 俊 猛
社外取締役	三 好 秀 和

監査役

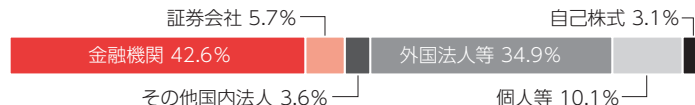
常勤監査役	重 田 孝 哉
常勤監査役	伊 藤 克 英
社外監査役	竹之内 明
社外監査役	西 浦 清 二

■ 株式情報

発行済株式の総数 368,115,217株
(自己株式 11,504,627株を含む)

株主数 36,496名

所有者別株式分布状況



大株主

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率※ (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	51,988	14.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	41,445	11.6
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,439	3.5
公益財団法人天田財団	9,936	2.8
SMBC日興証券株式会社	9,081	2.5
株式会社みずほ銀行	7,500	2.1
野村信託銀行株式会社(投信口)	6,570	1.8
日本生命保険相互会社	6,041	1.7
JP MORGAN CHASE BANK 385151	5,125	1.4
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	5,027	1.4

※出資比率は自己株式を除いて計算しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月

株主名簿管理人 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
及び特別口座 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
の口座管理機関 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公 告 方 法 電子公告 http://www.amadaholdings.co.jp/ir/stock_info/koukoku/
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株式会社アマダホールディングス

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林に配慮して適切に管理された
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した当社のベジタブル
オイルインキを使用しています。